

■ R 7 実績評価_再確認事項

第1回協議会（6/25）において、ご意見いただいたものについて抜粋したのになります。

○基本目標1の①耕地面積のところ、実績値が50ha減少したとなっているが、その理由は。

⇒ 再確認いたしましたところ、従来と変更ありませんでした。

基本目標1 産業を育て、安定した雇用を創出する									
重要業績評価指標 (KPI)				KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)			
		基準値	R7実績値			達成率	評価	評価の視点	
①	耕地面積	11,500ha	11,450ha	11,500ha	50ha減少した。	今後耕地面積維持に努める。	99.6%	A	引き続き農地を守り、維持していく。
	修正 ⇒	11,500ha	11,500ha	11,500ha		今後耕地面積維持に努める。	100.0%	A	引き続き農地を守り、維持していく。

○基本目標3の④合計特殊出生率だが、目標の達成状況は複合的な要因のため達成状況の判断は困難、改善点等は引き続き子育てへの取り組みを行う、B評価で施策との関係性を一義的に判断するのは困難、という評価の仕方をしている。

所管で判断が困難と言われたら委員は何も言いようがないのでは。

⇒ 記載を修正しております。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
重要業績評価指標 (KPI)				KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)			
		基準値	R7実績値			達成率	評価	評価の視点	
④	合計特殊出生率	1.28	1.29	1.50	複合的な要因のため達成状況の判断は困難。	引き続き子育て支援の取り組みを行う。	86.0%	B	施策との関係性を一義的に判断することは困難。
	修正 ⇒	1.28	1.29	1.50	複合的な要因(若年層の経済基盤や雇用環境、未婚化の進行、さらにはライフスタイルの多様化など)により目標値には達しなかった。	引き続き出会いの創出・子育て支援の充実・周産期医療等の確保・仕事と子育てを両立できる環境づくりの取り組みを行う。	86.0%	B	出生率の上昇に向けた子育て支援の取り組みを継続していく。

○基本目標3の(2) ③高校生までの医療費無償化のところ。目標値の設定の仕方が悪いのではないか。

今後高校生が少なくなっていくし、それがわかっていてこの目標値のまま取り組みを進める訳にはいかないのでは。

⇒ 本施策の目的は、医療費を無償化することにより、

・「子育て世帯の経済的負担を軽減すること」

・「経済的理由による受診抑制を防ぎ、必要な医療へアクセスできる環境を整えること」にあります。

つまり、『経済的要因による未受診数を減少させること』も目的の大きな部分であります。

このことから、人口動態とは沿っていないが目標値を大きく設定しているところであります。

③高校生までの医療費無償化	高校生等の受給者数(人/年)			少子化の影響により、目標値には達しなかった。	特になし	93.3%	A	健康で活力のある地域社会形成のための子育て支援として、重要な取り組みと判断し今後も事業を継続していく。
	基準値	R7実績値	R11目標値					
	319	280	300					

○今までは救急車をタクシー代わりに使わないでという風に言われてきた。

救急車を呼ぶことをためらう人もいると思うので、救急案内や救急車を使って良いことをもっとアナウンスしても良いと思う。

⇒ 近年の救急車の出動は1日平均4件で、うち約4割の方は軽傷であります。

救急車の台数が限られている中で、本当に救急車が必要な方へ行き届かない可能性があることを考えると「積極的に救急車を利用してください」とアナウンスすることは難しいと考えます。一方で、救急車を呼ぶか迷った結果、通報が遅れて重症化することは絶対に避けなければなりません。重症度の感じ方も個人によって異なると考えますので、担当所管（健康子ども課、消防）とも確認しながら、最適なアナウンスについて検討したいと思います。

【参考】※初めにご指摘いただいた妊婦の搬送について

・救急車での搬送数：R5年1件、R6年1件、R7年1件

・安心ハイヤー（健康子ども課事業）での搬送数：R5登録10名（利用1名）、R6登録20名（利用1名）、R7登録20名（利用1名）

※安心ハイヤーについて（営業時間：午前6時～午前2時まで）

・ドライバーは助産師による講習を受けており、車内は破水に備えバスタオルや防水シートを完備している。（汚した場合もクリーニング料金の請求はしない）。